



## 2学期を終え、明日から冬休み

本日、終業式を行い、2学期を終えました。おかげをもちまして、大きな事故なく教育活動をすすめることができました。81日間という長かった2学期、暑い日差しが照りつける真夏から寒風が吹きすさぶ真冬まで、子どもたちはなかまとともに一杯学んできました。

感染症対策が緩和されたことにもない、校内外の様々な教育活動がより充実し、広がりや深まりのあるものにしていきたいと考え取組をすすめてまいりました。

修学旅行や社会見学、見学調査などの校外学習においては、見学先の範囲や活動の幅を広げてきました。また、地域の方々等ゲストティーチャーからの聴き取り学習や学習支援についてもより活発に進めることができたと考えています。

とりわけ2学期には、5・6年生の家庭科「エプロン作り」「ナップサック作り」の学習支援に地域の方々にお越しいただいて、子どもたちに丁寧に声かけや支援をいただいたこと、11月の校内読書週間に「お話ボランティア『どうようっ子クラブ』」の方々にお越しいただいて、全ての学級で読み聞かせをしていただいたことは、子どもたちの育ちに大きな力を与えていただいたと感じています。



ミシンのかけの方法が分からず困っている子の表情が、支援いただいた方の声かけでパッと明るくなった瞬間や授業後にお礼を言う姿には、「教えてくれてありがとうございました。」という気持ちがしっかりこもっていました。

毎朝、交代で2名の方がそれぞれの学級の子どものたちの前に立たれ、読み聞かせを始められると、どの子もジッと絵本を見つめ、語りに耳を澄ませていました。今後も様々な活動場面でご協力いただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、明日から冬休みが始まります。各地域の行事に参加したり、大掃除やお正月の準備などご家族といっしょに過ごしたりして、地域や家庭でしかできない活動を大切にしていきたいと思っております。そして、また元気に3学期の始業式の日に会えることを楽しみにしています。



なお、子どもたちが冬休みに取り組む課題などは、各学級担任から、学年通信等でお伝えしていますので、ご協力をお願いします。

### ☆楽しい冬休みを過ごすために☆

☆児童会だより「キラキラ青山」の「冬休みの生活について」とともに、ご確認ください。

#### 1 規則正しい生活をする。

- ① 自分にあった目標や計画を立てて、実行する。  
(早寝・早起き・朝ごはん、朝のうちに勉強するなど)



- ② ゲーム、動画の視聴などは、家族と話し合い時間を決めてする。
- ③ 家族の一員として仕事を受け持ち、責任を持ってやりとげる。

## 2 健康の維持・増進につとめる。

- ① ケガ・病気の無い安全で健康な日々を送る。
- ② むし歯などの治療が必要な人は、この期間を利用して治療する。

## 3 安全と事故防止につとめる。

- ① 交通事故防止
  - ・ 道路で遊ばない。道路に飛び出さない。
  - ・ 自転車は、点検してから乗る。
  - ・ 自転車に乗るときは、必ずヘルメットをかぶる。
- ② 水や火の事故防止
  - ・ 子どもだけで、川や池で遊ばない。
  - ・ 火遊びをしない。(ライターやマッチなどは子どもだけではさわらない。)
- ③ 誘拐防止
  - ・ 知らない人に声をかけられたり誘われたりしても、ついて行かない。
  - ・ 危険を感じたら、大声を出したり、防犯ブザーや防犯ホイッスルを鳴らしたりしながら、近くの人に助けを求めたり、「SOSの旗の家」や「子ども安全・安心の店」に逃げこんだりする。
  - ・ 電話による誘いや友達の電話番号の聞き出しには絶対に応じない。



## ●お知らせ●

- ☆ 冬休みは、12月23日(土)から1月8日(月)までです。
- ☆ 3学期は、1月9日(火)から始まります。給食開始は、1月10日(水)からです。
- ☆ 12/28(木)～1/4(木)の間は、伊賀市の小・中学校が一斉に学校閉校日となります。この間の保護者のみなさまからの事故等の緊急連絡は、伊賀市教育委員会学校教育課 22-9649へお願いします。

## 地元の方の協力により新しい砂場が出来ました

### ～保育・幼児教育と学校教育をつなぐ～

児童玄関前に新しい砂場が出来上がりました。穴を掘ったり、山をつくったり、トンネルを掘ったり、水を流したり、砂場遊びに没頭する中で五感が刺激され、子どもたちの感覚器官や神経系が発達し、認知能力や集中力が高まると言われています。また、想像力や創造力が育ち、他者とともに活動することで社会性や協調性が育まれると言われています。これら保育・幼児教育の場で大切にされてきたことを学校教育とつなぎ子どもたちの豊かな成長につなげたいと考え新しい砂場をつくりました。



この砂場の工事において、地元阿保の坂浦 英明さん(中勢技研)に重機で穴を掘っていただき、木枠は同じく阿保の長谷 正浩さん(夢工藝)に作っていただきました。地域の方のご協力によって完成した砂場で今子どもたちはいきいきと活動しています。